

政務活動実施報告書

令和 2 年 3 月 1 9 日

村上市議会議員 様

議員名 小杉和也



私は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

用 務 名	国指定重要無形文化財 (秩父祭りの屋台行事と神楽)、屋台小屋 調査 インバウンド (外国人観光客) への対応調査
実 施 日 時	令和元年 6 月 1 9 日 (水) 午後 1 時～5 時 (秩父神社境内 本町屋台小屋、秩父市役所) 令和元年 6 月 2 0 日 (木) 午前 9 時～1 2 時 (秩父まつり会館、中町屋台小屋・上町屋台小屋 外観)
用 務 先	埼玉県秩父市
参 加 議 員 名	※同行議員がある場合記入すること。
全 体 参 加 者 数	※同行議員がある場合記入すること。 名
概 要 及 び 所 見	<p>村上市の村上大祭が平成 3 0 年 1 月 1 9 日に「村上祭の屋台行事」として国の重要無形民俗文化財指定を受けたことから、昭和 5 4 年に「秩父祭りの屋台行事と神楽」として国の重要無形民俗文化財指定を受けた秩父祭りの運営および管理状況やインバウンド対応を聞くために、秩父市役所の担当者を訪ねて聞き取りを行い、秩父まつり会館および屋台小屋の現状を視察した。</p> <p>秩父祭りの笠鉦・屋台は昭和 3 7 年に重要有形民俗文化財に指定されており、重要無形民俗文化財指定と両方に指定されているものは日本全国でも 5 例しかなく、ユネスコ無形文化遺産にも指定されている。秩父夜祭は、京都の祇園祭、飛騨の高山祭と並んで日本三大美祭及び日本三大曳山祭の一つに数えられ、金色の飾り具や極彩色の彫刻、後幕の金糸の刺繍で装飾された笠鉦・屋台は「動く陽明門」と言われるほど豪華絢爛である。村上市の村上大祭が国の重要無形民俗文化財指定を受けたことから、その保存に向けた屋台小屋の現状も視察した。</p> <p>笠鉦・屋台の修復については、秩父祭保存委員会にて 6 町会と協議の上、中長期の年次計画を策定し、それに基づいて実施しており、「秩父屋台囃子」は秩父祭だけでなく、秩父地域で行われるすべての笠鉦・屋台行事をはじめ、多くの祭礼行事で演奏されていることから、各地域で継承活動が行われていた。</p> <p>また、それらの団体の統括的役割を担っている「秩父屋台囃子保存会」では、月 1 回のペースで秩父神社を会場として練習会を実施しており、笠鉦・屋台は、部材を解体した状態でそれぞれの収蔵庫にて保存されていた。</p>



秩父市では、秩父への観光促進を目的とした「一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社」が設立されており、公式ホームページ上では、秩父の観光情報、文化や歴史、郷土料理、宿泊施設、買い物情報などが幅広く紹介されている。同サイト上では、訪日外国人観光客誘致の取り組みとして、「英語」「中国語」「韓国語」「日本語」の4か国語で秩父に関する情報が提供されていて、秩父市の観光情報を紹介する動画も掲載されており、動画コンテンツは、近年のインターネット環境の整備、写真や文章の数千倍以上とも言われる情報量の多さ、多言語化の容易さから、インバウンド向けのPR方法として知られ、活用することで、訪日外国人観光客に地域の魅力をわかりやすく伝えることができ、「秩父地域おもてなし観光公社」では、英語版 Facebook ページも運営している。投稿はすべて英語で行われ、写真やテキストを中心に秩父の魅力を発信し、Facebook や Instagram など、訪日外国人観光客の利用頻度の高い SNS の活用はインバウンド誘致において有効な手段になる。

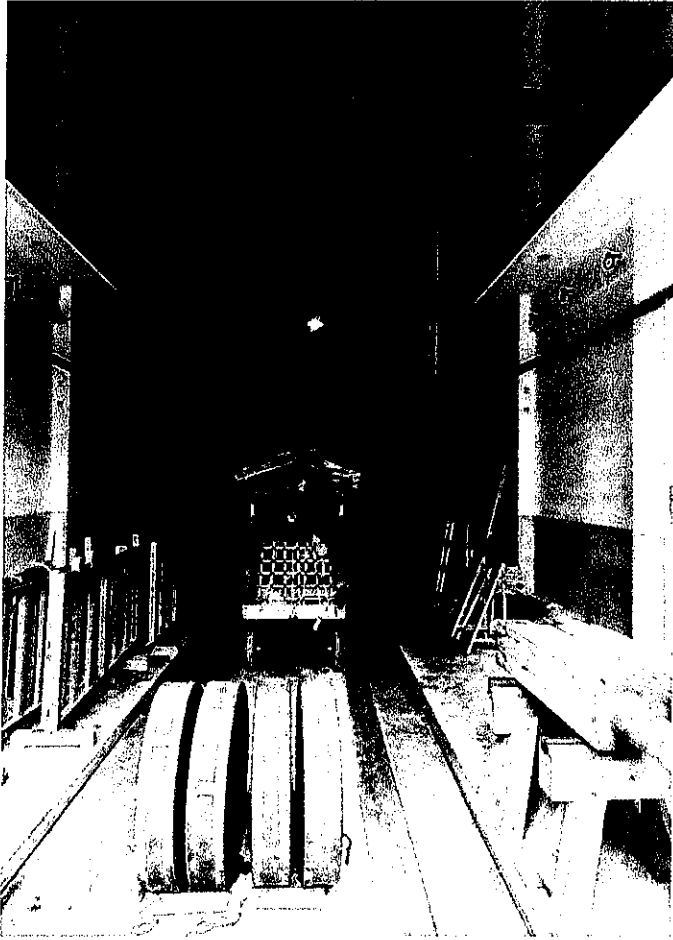
秩父鉄道秩父駅にある「秩父地域地場産業振興センター」は、2016年9月から秩父産の食べ物やお酒、伝統工芸品など土産品、2800品の免税販売を始め、免税販売の導入に先立ち、クレジットカードの決済端末をレジ5カ所に設け、訪日中国人観光客の間で広く使われている「銀聯カード」にも対応し、免税販売店で働く店員には、訪日外国人観光客向けの接客方法を学んでもらい、言語対策としては接客向け多言語対応サービス「接客指さし会話」を導入も行った。また秩父市では、訪日外国人観光客増加を受け、鉄道駅周辺や主要観光施設など約20カ所にWi-Fi整備を進めており、秩父駅を通る西武鉄道においても、9月より都心から秩父に向かう特急「レッドアロー号」にWi-Fiの導入を開始した。これにより、訪日外国人観光客が快適に情報を入手できるようになり、訪日外国人観光客がFacebookやTwitter、Instagramなどを通じて、秩父市での体験をシェアすることにより、潜在的なインバウンド誘致にもつなげることができるようになった。

村上市では、村上大祭が「村上祭の屋台行事」として国の重要無形民俗文化財指定を受けたことから、今後修復・修理が進むと思うが、祭保存のための組織強化が重要だと感じた。屋台小屋は、重要有形民俗文化財にも指定されていることから大変立派で、小屋自体も大きく、雨に濡れずに組立ができる構造になっていた。秩父のように、ここまで整備するのは難しいと思うが、雨対策を各町内区で考えていく必要がある。

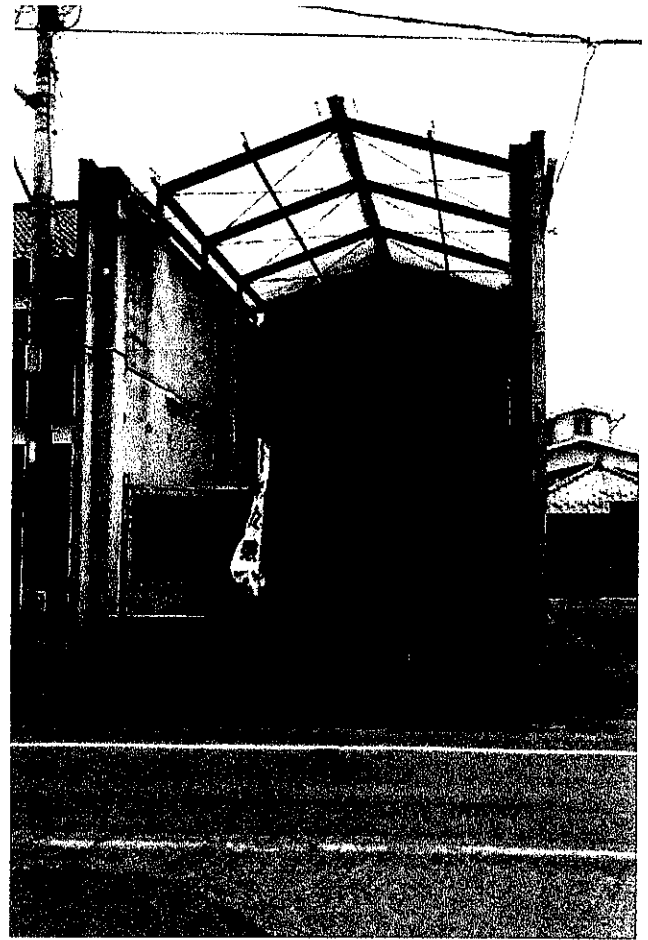
観光面では、村上市が一度に秩父市のような整備をすることは難しいので、まずWi-Fi環境の整備と外国語表記の看板設置を図る必要がある。また、地域おこし協力隊員がSNSで村上の魅力を発信しているように、SNSでの発信の強化を図る必要があると思うし、多言語のパンフレット作成も必要になってくると考える。また、秩父市だけでなく近隣市町村とも連携した誘客を目指し、秩父地域として売り出していたので、関川村との観光連携も必要である。

備 考

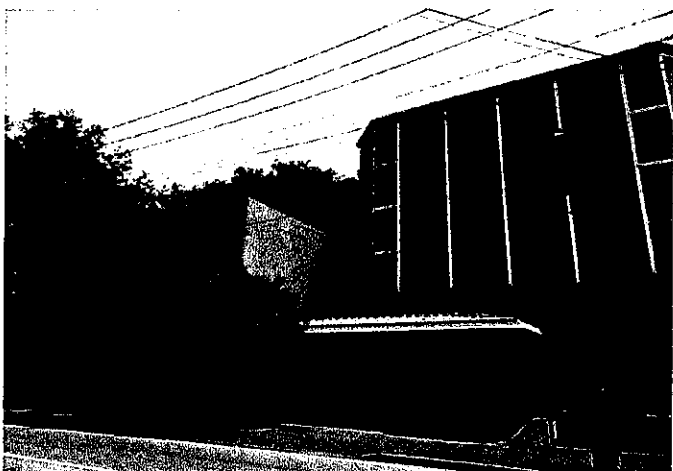
秩父市



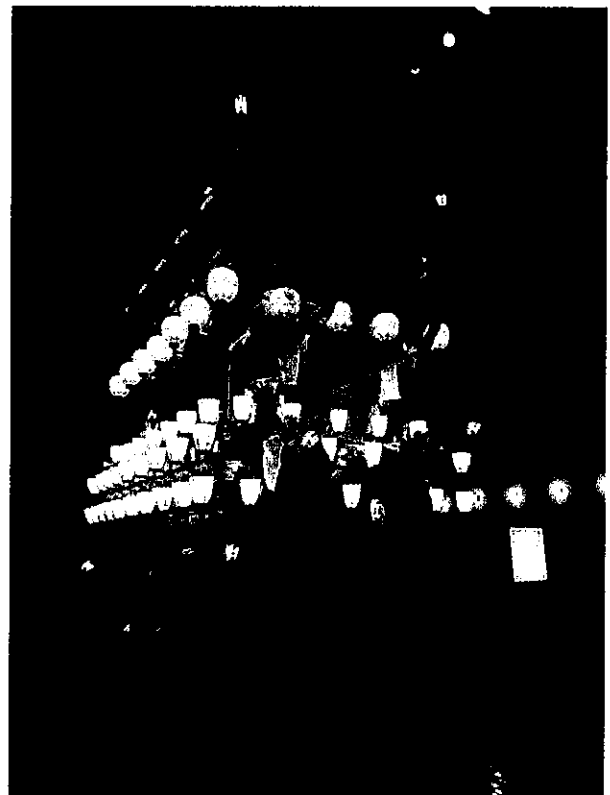
本町 屋台小屋



中町 屋台小屋



秩父まつり会館



○秩父夜祭に秩父市が対応していることは何ですか。交通面、出店対応、広告宣伝、予算。

観光

・秩父まつり対策本部

目的：秩父まつりの諸事業を円滑に運営するために関係機関との連絡調整、秩父まつり対策について必要な業務を行う。

構成：秩父祭笠鉦・屋台町会／煙火関係町会／公共交通期間／商店街関係者／神社関係者／消防／秩父市

事務局：秩父市産業観光部観光課

主な活動：交通対策（交通規制の調整、臨時駐車場の開設、看板・信号機対応等）

公衆衛生対策（仮設トイレ・ごみ対策等）

自主警備・事故防止対策（消防・警備員による救急・警備対応等）

出店対策（暴力団関係者の排除、出店場所の調整等） 他

予算：市補助金 19,060,000 円および関係団体からの負担金を元に運営。

・秩父夜祭観光祭実行委員会

目的：前夜祭の活性化や本祭りの秩父夜祭花火大会の開催等により、魅力的な秩父夜祭を演出する事業を推進する。

構成：観光協会構成委員

事務局：秩父観光協会（秩父市から委託）

主な活動：花火の手配・打ち上げに関する調整・広報

屋台観覧席の運営

ポスターの作成 他

予算：市委託料 7,080,000 円および煙火寄付・各種収入を元に運営。

文化財保護

・秩父祭保存委員会

目的：秩父祭及び諸行事の保護保存及び継承等に係る計画立案及び調査研究等。

構成：秩父祭笠鉦・屋台町会／屋台行事・神楽関係者／市文化財保護審議委員

事務局：教育委員会文化財保護課

主な活動：秩父祭笠鉦・屋台の保護保存に関すること（例：修理計画の立案）

秩父祭関係者を集めての、歴史や部材等に係る指導者研修会の開催（年1回）

秩父祭当日の、他の山・鉦・屋台行事関係者への対応等の検討 他

（全国山・鉦・屋台保存連合会加盟団体）

○秩父夜祭を実施する秩父神社、秩父夜祭観光祭実行委員会の構成メンバーおよび会計について教えてください。

観 光

- ・秩父神社不明
- ・秩父夜祭観光祭実行委員会 上記のとおり

○昭和54年に秩父夜祭が国指定重要無形民俗文化財に指定されましたが、指定以前と指定後の観光客の入りこみ数の変化や経済効果はどうですか。

観 光

記録がなく不明

○平成28年に秩父夜祭がユネスコ無形文化遺産に指定されましたが、指定以前と指定後の観光客の入りこみ数の変化や経済効果はどうですか。

観 光

ユネスコ無形文化遺産に登録されたことでメディアへの露出が大幅に増えたことから過去最高の入込観光客数を記録した。

(平成28年は宵宮2日(金)、大祭3日(土)であり、最も集客が見込める曜日であったことに加え、登録された日(日本時間:平成28年12月1日の早朝)の翌日だったことも大きな要因の1つである。)

○祭りの保存で、屋台・笠鉦の修復やお囃子の継承はどのようにされているのですか。

また、屋台・笠鉦の保存方法(収納小屋など)はどうされているのですか。

文化財保護

笠鉦・屋台の修復については、秩父祭保存委員会(組織については最初の質問を参照ください)にて6町会と協議の上、中長期の年次計画を策定し、それに基づいて実施している。

「秩父屋台囃子」は秩父祭だけでなく、秩父地域で行われるすべての笠鉦・屋台行事をはじめ、多くの祭礼行事で演奏されていることから、各地域で継承活動が行われている。また、それらの団体の統括的役割を担っている「秩父屋台囃子保存会」では、月1回のペースで秩父神社を会場として練習会を実施している。

なお、笠鉦・屋台は、部材を解体した状態でそれぞれの収蔵庫にて保存されている。

○祭りの引手不足などの問題はありませんか。

文化財保護

いわゆる「街なか」と言われる町会では、曳き手だけでなく、祭従事者の不足にも悩まされている。

各町会ごとに祭り町会ではない連携町会からの協力により曳き手を確保していると聞いている。

また、ある町会では、市報への掲載や地元鉄道会社（秩父鉄道）とのコラボにより、曳き手を募るなどといったことも行っている。

○屋台・笠鉾の保存に苦勞している点は何ですか。

文化財保護

笠鉾・屋台の中には、その形状や構造、材質などによって現在では入手困難な部材が多いこと。

○秩父まつり会館の運営、管理、入りこみを教えてください。運営経費もわかりましたら教えてください。

観 光

運 営：(株)ちちぶ観光機構（秩父市から委託）

管 理：小規模管理 (株)ちちぶ観光機構、大規模管理 秩父市観光課

入込客数：平成 30 年度 78,368 人

委 託 料：19,631,000 円

○インバウンドの対策として秩父市が取り組んでいることは何ですか。（夜祭時および通年）

観 光

夜祭時

- ・英語ガイドの配置（大祭 12/3 のみ、H30 年から実施）
→英会話教室に通う方々に依頼。H30 年は 14 人参加
- ・外国人曳き手体験ツアーの実施（宵宮 12/2 のみ）

※上記 2 つは秩父地域 DMO 法人「(一社) 秩父地域おもてなし観光公社」で実施。

通年

- ・多言語パンフレットの作成（7 言語）
- ・翻訳機（ポケトーク）の活用。
- ・埼玉県、県内市町村、鉄道会社との連携